

キャラクター名
勢登 大春 (せと まさはる)

プレイヤー名

シンドローム	ソラリス ウロボロス		ワークス	FHエージェントC	カヴァー	FHエージェント
	オプション		年齢	18	性別	男
覚醒	犠牲	衝動	殺戮	初期侵食率	34	%
出自	複数の兄弟姉妹がいる	経験	絶望	邂逅	欲望：復讐	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	29
肉体	1		0			1	行動値	9
感覚	1		0			1	(非装備時)	9
精神	3	1	3			7	戦闘移動	14
社会	3		0			3	全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	7		交渉		
回避			知覚			意志	1		調達	1	
運転：			芸術：			知識：レネゲイド	2		情報：FH	3	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
冬の園の薄明	R C	10r+7		12		侵蝕6/コンセ+餓えし影+増加の触媒
@100-	R C	13r+7		16		
秋の夜長を待つ	R C	13r+7		36		↑100/侵蝕12/↑+プラズマカノン
水魚の鳥、夏の夜空を翔ける。	R C	13r+7		54		↑100/侵蝕16/↑+オーバードーズ/シナリオLv回

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
ストレンジフェイス	

合計装甲： 0 合計回避： 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
傍らに立つ影	P	N		
潜入先の人々	P 有為	N 不信感		
兄弟姉妹(詳細未定)	P 懐旧	N 隔意		
シナリオ：友人を殺したFHエージェント	P 執着	N 憎悪		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 8 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
コンセントレイト：ウロボロス	2	2	メジャー	-	-	シンドローム	-	
効果： C値-Lv(下限7)								
餓えし影	1	1	メジャー	視界	-	RC	-	
効果： 攻撃力:[Lv+2]の射撃攻撃								
増加の触媒	3	3	メジャー	-	-	RC	-	
効果： 攻撃力+[Lv*3]								
原初の黒：プラズマカノン	3	4+2	メジャー	視界	単体	RC	100↑	
効果： 攻撃力+[Lv*5]								
オーバードーズ	1	4	メジャー/リアクション	-	-	シンドローム	100↑	
効果： 組み合わせたエフェクト全てのLvを+2(Lvの上限を超えてもよい)/この効果でエフェクトの使用回数は増加しない/シナリオLv回								
傍らに立つ影：軍神の守り	1	2+1	オート	至近	自身	-	-	
効果：ダメージロールの直前に使用/カバーリングを行う/このカバーリングでは行動済にならず、自分が行動済でも使用可/メインプロセス1回								
元気の水	★	-	メジャー	至近	単体	自動成功	-	
効果： 栄養満点の水を作り出す。これを飲むことで、疲れが取れる/必要に応じて<RC>判定								
消去の号令	★	3	メジャー	至近	単体	RC	-	
効果：レネゲイドの簡単な作用による効果を一時的に消去するエフェクト。対象の<RC>と対決を行い、勝利すると対象が受けているイージーエフェクトの効果を解除する/そのシーン中、対象は同じイージーエフェクトを使用できない								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

勢登大春という少年は、FHに所属しているとは思えないほど明朗快活だ。

彼はもともと大人しく泣き虫な子供で、チームのメンバー(PCたち)や年の近い晴夏のことをよく慕っていた。でも、自分を庇って晴夏が亡くなった時、涙を流すことはなかった。彼の様子が変わったのはそれからだ。FHに入ったのをきっかけに、泣き虫だった彼の面影はなくなった。復讐心など微塵も感じさせない社会的な様子で彼らと話をしては、冷静に、感うことなく情報を集めている。

コードネームの由来は、生まれたての殻が付いた小鳥のように純粋無垢だったから、というもの。昔は非常に騙されやすく、あらゆることを信じ込んでよく泣いていたのだが……あいにく、権謀術数の世界を強かに生きる今では似合わない名前になってしまった。

UGNに所属していた頃は味方への支援しかできなかったが、FHに入ってから徐々に攻撃的な能力へと転化。最近になってウロボロスシンドロームに目覚めてからは、いっそう顕著になった。その力をFHとの交渉材料にもしているようだ。

彼は、自身の力を限界以上に引き出して「無理をしても頑張る」術を身に着けた。そして、『傍らに立つ影』は、以前の彼では持ちえなかった「他人を庇う力」を備えている。

好物はソーダアイス。